答 申 書

平成23年8月5日

宇都宮市上河内自治会議

目 次

はじめに	1
1 計画的に進んでいる事業	
（1）道路新設改良事業	2
（2）上水道事業統合整備	3
（3）公共下水道整備事業	4
（4）児童の健全育成環境の整備	5
（5）中学校校舎整備事業	6
（6）中学校体育館整備事業	7
（7）中里原土地区画整理事業	8
（8）農道整備事業	9
2 検討段階にある事業	
（1）生涯学習センター整備事業	10
（2）農産物直売所等整備事業	11
（3）地域交流館整備事業	12
3 終了した事業	
（1）スマートIC恒久設置事業	13

※ 林道整備事業については平成21年度に終了しております。

はじめに

平成19年の合併から5年目を迎え、「合併市町村基本計画」の主要事業は、上河内地域のまちづくりを推進するうえで基盤となるいくつかの事業が終了し、賑わいのあるまちが創出されつつあります。

その中でも、中里原土地区画整理事業につきましては、平成22年度に工事が完了し、今年度の換地処分によって事業が終了します。このことにより、都市計画マスタープランにおける「良好な居住環境の形成」が図られております。

また、昨年12月に上河内スマートインターチェンジがフルインター化されたことにより、今後は、広域交通の利便性を活かした産業や観光等による地域の活性化が期待されるところであります。

今回の答申にあたっては、12事業(平成21年度に終了した事業を除く)を、進捗状況に応じ三つに分類し、意見をまとめました。

本答申が基となり、各種事業が着実に執行されることで、上河内地域に引き継がれた「自然と人が共生し安心して暮らせる活力ある地域」の実現を願うものです。

1 計画的に進んでいる事業

(1) 道路新設改良事業

(進捗状況)

道路新設改良事業については、4路線（市道10111号線、市道13125号線、市道13045号線・13047号線、市道13127号線）が計画されております。

計画されている4路線のうち、市道10111号線については、平成21年度に改良工事がほぼ終了し、市道13125号線については、順調に改良工事が進められております。

<参考－執行状況>

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度(予定)
事 業 内 容	市道 10111 号線	改良工事(一部未完了)	—	用地買収・委託料
	市道 13125 号線	用地取得	用地取得外	改良工事・用地買収
	市道 13045 号線・ 市道 13047 号線	—	—	改良工事・用地買収・ 物件補償
	市道 13127 号線	—	—	—
	予算額	202百万円	255百万円	256百万円
累 計	303百万円	558百万円	814百万円	

(意 見)

市道13045号線・13047号線は通学路となっていることもあり、歩行者や自転車等の安全を確保するためには、整備に併せて歩道の設置や車両の時間帯による通行規制が必要です。

市道13127号線の整備については、市道13125号線と県道藤原宇都宮線を結ぶ路線ではありますが、交通量や利便性を考慮し、他の路線に変更するなどの対応が必要です。

市道10111号線及び市道13125号線については、生活道路としての利便性を確保するため、早急な整備が望まれます。

(2) 上水道事業統合整備

(進捗状況)

上河内地域の上水道事業については、東部地区と西部地区の二つの施設で運営されております。このため災害等が発生した場合においても安定した給水ができるよう、平成21年度に策定した水道拡張事業計画に基づき、平成23年度以降に二つの施設を結ぶ東西連絡管の整備を計画的に進めていく予定となっております。

また、松風台団地の給水区域編入については、地元自治会との協議を行いながら給水区域編入を進めていくことになっております。

(意見)

先の東日本大震災により、東北地方をはじめ全国各地でライフラインの被害が発生しました。このような中、災害時においても安定した給水が確保できるよう、東西連絡管については、早急に具体的な整備計画を明確にし、整備することが必要です。

また、松風台団地の給水区域編入については、自治会・開発業者と十分な協議を行い、課題の整理や解決策の検討を図り、早期に編入することが望まれます。

(3) 公共下水道整備事業

(進捗状況)

公共下水道整備事業については、平成22年度までに中里地区を中心に汚水管布設が行われ、上河内地域内の事業認可区域面積（238.4ha）に対する進捗率は64.5%となり、着実に整備が進んでおります。

また、今後は金田地区・今里地区を中心に汚水管布設が行われることになっております。

<参考－執行状況>

	平成21年度	平成22年度	平成23年度(予定)
事業内容	公共下水道	公共下水道	公共下水道
	汚水管渠築造工事	汚水管渠築造工事	汚水管渠築造工事
	特定環境保全公共下水道	特定環境保全公共下水道	特定環境保全公共下水道
	汚水管渠築造工事	汚水管渠築造工事	汚水管渠築造工事
予算額	295百万円	234百万円	219百万円
実績累計	139.2ha	153.8ha	172.8ha
進捗率※	58.4%	64.5%	72.5%

※ 進捗率＝事業認可区域面積（238.4ha）に対する整備面積

(意見)

公共下水道は、地域の生活環境の向上や自然環境の保全のためにも大変重要であることから、今後も引き続き計画的に整備することが必要です。

また、住みやすい住環境の整備のため、引き続き合併処理浄化槽設置の支援が望まれます。

(4) 児童の健全育成環境の整備

(進捗状況)

児童の健全育成環境の整備については、平成20年度に上河内中央小学校区域及び上河内西小学校区域に「子どもの家」が設置されました。

また、平成21年度には、上河内東小学校区域の留守家庭児童会が上河内東小学校体育館内に移転され、今後は「子どもの家」へ移行されることになっております。

<参考－執行状況>

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度(予定)
事業内容	上河内中央小学校 子どもの家開設			
	上河内西小学校 子どもの家開設			
	—	上河内東小学校 留守家庭児童会移転 (学校内既存施設へ)	—	—
設置箇所数	2箇所	—	—	—

(意見)

上河内東小学校区域の留守家庭児童会については、平成21年度に上河内東小学校体育館内に移転されましたが、就学前の子どものためにも、一日も早く「子どもの家」として、空き教室や新たな建物に移行することが必要です。

また、安心・安全な「子どもの家」を運営するためには、指導員の育成に努めるとともに、保護者からの意見を聞くことも必要です。

(5) 中学校校舎整備事業

(進捗状況)

中学校校舎整備事業については、上河内中学校普通教室棟の耐震補強工事が平成13年度に実施されております。

また、特別教室棟については、平成18年度に耐震1次診断、平成21年度に耐震2次診断が行われ、平成27年度までに耐震補強工事を完了する予定となっております。

<参考－執行状況>

	平成21年度	平成22年度	平成23年度(予定)
事業内容	上河内中学校特別教室棟 耐震2次診断	—	—
予算額	4百万円	—	—

(意見)

中学校校舎の耐震化は、自然災害などから生徒の安全を確保する最優先事業であり、安心して快適な教育環境をつくるうえでも重要であるため、早急に整備を進めることが必要です。

なお、校舎の老朽化は進んでおり、自然災害等はいつ発生するかわからないため、耐震化を実施するまでの間は、日常的な点検整備も必要です。

(6) 中学校体育館整備事業

(進捗状況)

中学校体育館整備事業については、平成18年度に上河内中学校体育館の耐震1次診断、平成21年度に耐震2次診断が行われ、平成27年度までに耐震補強工事を完了する予定となっております。

また、平成22年度には中学校体育館の南側に武道場が完成しました。

<参考－執行状況>

	平成21年度	平成22年度	平成23年度(予定)
事業内容	上河内中学校体育館 耐震2次診断	—	—
	上河内中学校武道場 新築実施設計	上河内中学校武道場 新築工事	
予算額	9百万円	147百万円	—

(意見)

中学校体育館については、地域の避難場所として大切な役割を果たす施設ですが、老朽化が進んでいることから、早急に耐震化を進めることが必要です。

また、自然災害等はいつ発生するかわからないため、耐震化を実施するまでの間は、日常的な点検整備も必要です。

平成22年度に完成した武道場は、体育授業や部活動を行ううえでも快適な施設であり、有効に活用されております。

(7) 中里原土地区画整理事業

(進捗状況)

中里原土地区画整理事業については、平成22年度で工事は完了し、全体の94.7%の整備が行われました。

また、換地処分については、平成23年度秋頃に予定となっております。

<参考－執行状況>

	平成21年度	平成22年度	平成23年度(予定)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・一次造成工事(1.56ha) ・水路築造工事(69.8m) ・街区画地点測設業務委託 ・地質調査業務委託 ・保留地販売(8区画) 	<ul style="list-style-type: none"> ・宅地造成工事(8.26ha) ・擁壁工事(961 m²) ・街区・画地出来形確認測量 ・換地計画書等作成 ・保留地販売(8区画) 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画第3回変更認可 (事業費 690百万円 ⇒704百万円 変更予定) ・換地計画認可 ・換地処分(平成23年秋) ・区画整理登記・保留地登記 ・清算金徴収・交付
予算額	140百万円	169百万円	36百万円
累計	事業費 498百万円	事業費 667百万円	事業費 703百万円
進捗率※	70.7%	94.7%	99.9%

※ 進捗率＝中里原土地区画整理事業費（704百万円）に対する事業費

(意見)

平成23年度の換地処分をもって事業は終了いたしますが、今後は地域と行政が連携して安全で安心なまちづくりを進めていく必要があります。

(8) 農道整備事業

(進捗状況)

農道整備事業については、毎年度、計画的に整備が進められており、平成19年度から平成22年度までの4年間で、延べ5,486.3mの舗装工事が行われ、順調に整備が進んでおります。

<参考－執行状況>

	平成21年度	平成22年度	平成23年度(予定)
事業内容	農道舗装工事	農道舗装工事	農道舗装工事
予算額	21百万円	21百万円	11百万円
実績	1,537.0m	1,264.0m	580.0m

※ 実績＝各年度における整備延長

(意見)

農道整備事業については、上河内地域の主要な産業である農業をサポートするうえで大変重要な事業であることから、今後とも効率的かつ効果的な整備が必要です。

また、整備に際しては、旧土地改良区を含めた検討も必要です。

2 検討段階にある事業

(1) 生涯学習センター整備事業

(進捗状況)

生涯学習センターについては、老朽化が進んでおりますが、利用者が安全かつ快適に利用できるよう、また、ひとつづくりとまちづくりの一体化も見据えて、施設に必要な機能や規模等を検討されている段階であり、現在のところ整備の実施には至っておりません。

(意見)

上河内生涯学習センターは、老朽化が進んでいるとともに、狭隘でバリアフリーの対応が不十分でありますので、利用者が安心して利用できるよう、早急に必要な機能及び規模等の整備方針を明確にし、整備する必要があります。

整備に際しては、求められる機能など地域の意見を十分に反映させ、誰もが安全かつ快適に利用できる施設とすることが望まれます。

(2) 農産物直売所等整備事業

(進捗状況)

農産物直売所等の整備については、鋭意検討が進められてきましたが、上河内地域には3箇所の直売所があり、競合により売り上げが分散してしまうなど、運営上多くの課題があることから、整備することは難しい状況であります。

しかしながら、地産地消の施策を推進するため、地場農産物を扱う直売所等に対して、PRなどの普及啓発活動や消費者ニーズに対応した安全・安心な農産物が供給できる仕組みづくりなど、ソフト事業に対しての支援が行われることになっております。

(意見)

地産地消の推進や地域産業の活性化、特に上河内地域の特色である「農」を活かした産業を推進するためにも、今後とも既存の直売所への支援を充実するとともに、上河内の農産物が多くの人に提供できるような仕組みづくりの構築などが必要です。

(3) 地域交流館整備事業

(進捗状況)

地域交流館整備事業については、利用者へのサービス向上や運営の円滑化を図るため、交流拠点としての整備や施設内容の検討が進められているところですが、現在のところ整備の実施には至っておりません。

(意見)

地域交流館は、上河内地域の情報発信地として重要な役割を担っておりますことから、都市間交流拠点として、交流人口の増加につながる足湯の設置の他、農業体験などを活かした交流ができる施設の整備拡充や地域ならではのおもてなしの提供が必要です。

また、地域に密着した施設であるため、運営体制を含め、地域のお年寄りが利用しやすい環境づくりに配慮することも望まれます。

3 終了した事業

(1) スマート I C 恒久設置事業

(進捗状況)

スマート I C 恒久設置事業については、平成 22 年 12 月 18 日にスマート I C がフルインター化されたことにより、計画どおり整備が終了しました。

<参考－執行状況>

年 度	平成20年度	平成21年度	平成22年度(予定)
事業内容	用地買収, 改良工事	舗装工事	舗装工事等
予算額	57百万円	33百万円	2百万円
累 計	159百万円	192百万円	194百万円
進捗率※	82.4%	99.5%	100%

※ 進捗率＝総事業費（194百万円）に対する実績累計の金額

(意 見)

スマート I C がフルインター化されたことにより、宇都宮市の北の玄関口として広域的な交流が見込まれることから、企業誘致等、地域経済の活性化につながる計画的な基盤整備が望まれます。

また、大型車両の通行も可能となったスマート I C の周辺道路においては、交通量が増加しており、スマート I C 上り取り付け道路から松風台団地入口までは通学路にもなっていることから、児童をはじめとする歩行者の安全を十分に確保するためには、歩道（自転車も通行可能）を設置するなどの安全対策が必要です。

～ 審議の経緯 ～

平成23年	5月13日	第1回宇都宮市上河内自治会議
市長から「合併市町村基本計画の執行状況」について諮問
平成23年	6月20日	第2回宇都宮市上河内自治会議
各事業の進捗状況について調査審議
平成23年	7月11日	第3回宇都宮市上河内自治会議
答申書（素案）の審議
平成23年	8月1日	第4回宇都宮市上河内自治会議
答申書（案）の審議
平成23年	8月5日	答申書を市長に提出

～ 上河内自治会議委員名簿 ～

会 長	太 田	正
副会長	神 山	光 男
委 員	束 原	勸
委 員	山 口	和 子
委 員	赤 羽	博 行
委 員	江 連	脩 身
委 員	小 野	久 男 (平成 23 年 7 月 25 日退任)
委 員	亀 田	勝 敏
委 員	川 津	昭 夫
委 員	北 見	和 弘
委 員	櫻 井	誠
委 員	田 口	利 男 (平成 23 年 7 月 25 日就任)
委 員	手 塚	道 子
委 員	手 塚	安 則
委 員	星	優美子
委 員	谷田部	喜美江
委 員	横 塚	境
委 員	君 島	恭 子
委 員	櫻 井	清 一
委 員	高 橋	みどり
委 員	藤 井	直 和